



平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 アース製薬
 コード番号 4985 URL <http://www.earth-chem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 役員待遇 経営企画部部长
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 大塚 達也
 (氏名) 下川 善通

TEL 03-5207-7456

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	21,536	4.3	1,750	△1.3	1,836	1.0	1,002	△0.5
21年12月期第1四半期	20,655	—	1,773	—	1,817	—	1,007	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	49.79	49.72
21年12月期第1四半期	50.19	50.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	72,074	42,188	52.7	1,884.93
21年12月期	66,461	42,633	57.9	1,911.25

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 37,951百万円 21年12月期 38,481百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	85.00	85.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	0.00	—	85.00	85.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	64,490	4.2	9,408	1.6	9,583	2.4	5,284	△0.3	262.44
連結累計期間	105,557	3.8	6,018	7.2	6,433	7.1	3,255	5.6	161.66

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他(2)をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期第1四半期 20,137,500株 21年12月期 20,137,500株

② 期末自己株式数 22年12月期第1四半期 3,210株 21年12月期 3,180株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年12月期第1四半期 20,134,313株 21年12月期第1四半期 20,070,198株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、5ページの「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

平成22年2月12日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありませんが、第2四半期連結累計期間の売上高に関して、対前年同四半期の増減率に誤りがありましたので、訂正いたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、生産の回復や輸出の緩やかな増加及び企業収益の改善などにより景気に持ち直しの兆しが見られるものの、雇用情勢は依然として厳しく、デフレの影響など景気を下押しする懸念も存在する状況でありました。

このような状況のなか、当社グループは「価値創造による脱価格競争」の方針のもと、価値を訴求する営業活動を行うとともに、付加価値の高い製品や差別化された環境衛生サービスを提供してまいりました。また、収益性の向上を目指して主力の製品・サービスの販売強化を図るとともに、生産の最適化によるコストダウンや販売管理費の効率的投入に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は215億36百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は17億50百万円(前年同期比1.3%減)、経常利益は18億36百万円(前年同期比1.0%増)、四半期純利益は10億2百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

なお、当社グループは殺虫剤の売上構成比が高く、売上高が3月～8月に偏るといった季節性がある一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には著しい相違があります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

[家庭用品事業]

家庭用品事業におきましては、個人消費が依然として低調に推移する厳しい状況でありましたが、主力品の販売強化を図るとともに、成長カテゴリーでの新製品発売やマーケティング費用の効果的な投入などにより市場の活性化と売上の拡大に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における当事業の売上高は177億35百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は16億38百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	増減額	増減率
家庭用医薬品殺虫剤	1,351	1,450	99	7.3%
家庭用一般殺虫剤	5,947	6,795	848	14.3%
殺虫剤部門 計	7,299	8,246	947	13.0%
口腔衛生用品	5,264	5,169	△ 95	△ 1.8%
入浴剤その他	3,585	3,406	△ 179	△ 5.0%
日用品部門 計	8,850	8,575	△ 275	△ 3.1%
ペット用品部門	543	616	72	13.4%
その他製商品部門	185	297	111	60.4%
売上高合計	16,878	17,735	857	5.1%
営業利益	1,625	1,638	12	0.8%

(注) 売上高は外部顧客に対する売上高であります。

主な部門別の状況は次のとおりであります。

殺虫剤部門

家庭用医薬品殺虫剤分野におきましては、くん煙剤「アースレッド」が好調に出荷されたことなどにより、売上高は14億50百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

家庭用一般殺虫剤分野におきましては、主力品の液体蚊取り「アースノーマット」やゴキブリ駆除剤「ゴキジェットプロ」「ブラックキャップ」などが堅調であったことに加え、品揃えを拡充したスプレー式蚊取り「おすだけノーマット」、設置型虫よけ「バボナ虫よけネットW」が順調に出荷されたことで、売上高は67億95百万円(前年同期比14.3%増)となりました。

以上の結果、殺虫剤部門の売上高は82億46百万円(前年同期比13.0%増)となりました。

日用品部門

口腔衛生用品分野におきましては、洗口液「モンダミン」やリニューアルした知覚過敏予防歯磨き「シユミテクト」が好調に推移しましたが、入れ歯安定剤「新ポリグリップEX」の販売中止による影響などもあり、売上高は51億69百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

入浴剤その他分野におきましては、新製品の自動消臭芳香スプレー「エアーウィック i モーション」の寄与はあったものの、入浴剤「バスロマン」が前年を下回ったことや、新型インフルエンザの流行の終息に伴い薬用石鹸「ミューズ」の出荷が急激に落ち込んだことなどにより、売上高は34億6百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

以上の結果、日用品部門の売上高は85億75百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

ペット用品部門

ペット用品部門は、ペット用殺虫剤の好調な出荷により、売上高は6億16百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

[総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、取引先企業の収益低迷による経費削減から、契約内容の見直しを要求される厳しい状況でありましたが、主要な展開領域である食品関連工場等を中心に、独創的な品質保証の仕組みを取り入れたサービスの充実を図り、既存取引契約の維持・新規契約の獲得に努めたことで、年間契約件数は増加し、年間契約金額は微増となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における当事業の売上高は38億円(前年同期比0.6%増)、営業利益は原価コストの上昇により2億93百万円(前年同期比8.3%減)となりました。

(総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	増減額	増減率
売上高	3,776	3,800	23	0.6%
営業利益	320	293	△26	△8.3%

(注) 売上高は外部顧客に対する売上高であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べて56億13百万円増加し720億74百万円となりました。これは、売上債権及びたな卸資産の増加などによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて60億58百万円増加し298億86百万円となりました。これは、仕入債務や借入金の増加などによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4億44百万円減少し421億88百万円となりました。これは、利益剰余金の減少などによります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より5.2ポイント低下し52.7%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して44億70百万円減少し、78億57百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については、次のとおりであります。

営業活動の結果、減少した資金は50億48百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が18億33百万円、仕入債務の増加が37億19百万円ありましたが、売上債権の増加が49億65百万円、たな卸資産の増加が47億42百万円あったことなどによります。

投資活動の結果、減少した資金は2億99百万円となりました。これは、有価証券の売却による収入が2億67百万円ありましたが、有価証券の取得による支出が1億91百万円、投資有価証券の取得による支出が2億79百万円あったことなどによります。

財務活動の結果、増加した資金は8億59百万円となりました。これは、配当金の支払額が17億11百万円ありましたが、短期借入金の増加が26億55百万円あったことなどによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月12日に公表した第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

③棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,025	10,497
受取手形及び売掛金	18,936	13,997
有価証券	412	2,489
商品及び製品	15,139	10,876
仕掛品	1,221	988
原材料及び貯蔵品	3,787	3,529
繰延税金資産	1,090	900
その他	1,391	1,401
貸倒引当金	△32	△24
流動資産合計	49,973	44,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,916	16,123
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,491	△8,364
建物及び構築物(純額)	8,425	7,759
機械装置及び運搬具	6,431	6,354
減価償却累計額	△5,437	△5,375
機械装置及び運搬具(純額)	994	979
土地	5,131	5,130
リース資産	7	7
減価償却累計額	△1	△0
リース資産(純額)	6	6
建設仮勘定	80	172
その他	4,393	4,987
減価償却累計額	△3,797	△3,710
その他(純額)	595	1,276
有形固定資産合計	15,233	15,323
無形固定資産		
のれん	122	131
リース資産	20	21
その他	556	598
無形固定資産合計	700	751
投資その他の資産		
投資有価証券	5,194	4,708
繰延税金資産	597	642
その他	656	620
貸倒引当金	△279	△242
投資その他の資産合計	6,168	5,729
固定資産合計	22,101	21,804
資産合計	72,074	66,461

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,109	12,382
短期借入金	3,280	623
1年内返済予定の長期借入金	206	219
1年内償還予定の社債	40	40
未払法人税等	1,093	1,415
未払消費税等	66	216
未払金	3,921	4,083
賞与引当金	893	258
役員賞与引当金	27	26
返品調整引当金	189	298
その他	1,354	1,588
流動負債合計	27,181	21,153
固定負債		
社債	60	80
長期借入金	—	41
退職給付引当金	1,625	1,539
役員退職慰労引当金	373	364
その他	646	648
固定負債合計	2,704	2,675
負債合計	29,886	23,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,333	3,333
資本剰余金	3,124	3,124
利益剰余金	30,982	31,691
自己株式	△9	△8
株主資本合計	37,432	38,141
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	672	543
為替換算調整勘定	△153	△203
評価・換算差額等合計	519	340
少数株主持分	4,236	4,151
純資産合計	42,188	42,633
負債純資産合計	72,074	66,461

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	20,655	21,536
売上原価	12,108	12,550
売上総利益	8,546	8,985
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	467	472
広告宣伝費	1,461	1,404
販売促進費	380	748
貸倒引当金繰入額	14	46
給料及び手当	1,597	1,693
賞与引当金繰入額	493	448
役員賞与引当金繰入額	5	7
役員退職慰労引当金繰入額	17	8
旅費及び交通費	294	291
減価償却費	134	147
地代家賃	141	143
研究開発費	334	318
その他	1,432	1,504
販売費及び一般管理費合計	6,773	7,235
営業利益	1,773	1,750
営業外収益		
受取利息	19	11
受取配当金	0	0
為替差益	28	—
受取ロイヤリティー	0	0
受取家賃	36	36
その他	32	63
営業外収益合計	119	113
営業外費用		
支払利息	5	3
投資事業組合運用損	—	13
為替差損	—	7
たな卸資産廃棄損	0	—
貸倒引当金繰入額	58	—
その他	10	2
営業外費用合計	74	27
経常利益	1,817	1,836

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	0	—
その他	1	—
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	6	4
投資有価証券評価損	3	—
ゴルフ会員権評価損	0	0
特別損失合計	11	5
税金等調整前四半期純利益	1,807	1,833
法人税、住民税及び事業税	793	977
法人税等調整額	△117	△237
法人税等合計	675	740
少数株主利益	124	90
四半期純利益	1,007	1,002

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,807	1,833
減価償却費	361	328
賞与引当金の増減額(△は減少)	550	634
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△93	△109
売上債権の増減額(△は増加)	△4,999	△4,965
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,203	△4,742
仕入債務の増減額(△は減少)	3,471	3,719
その他	△608	△528
小計	△4,714	△3,830
利息及び配当金の受取額	20	12
利息の支払額	△5	△3
法人税等の支払額	△800	△1,226
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,500	△5,048
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△52	△191
有価証券の売却による収入	69	267
有形固定資産の取得による支出	△317	△97
有形固定資産の売却による収入	0	2
投資有価証券の取得による支出	△65	△279
投資有価証券の売却による収入	5	—
定期預金の払戻による収入	109	—
その他の支出	△87	△25
その他の収入	7	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△329	△299
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,033	2,655
長期借入金の返済による支出	△42	△55
社債の償還による支出	△20	△20
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,505	△1,711
少数株主への配当金の支払額	△3	△8
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	462	859
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,324	△4,470
現金及び現金同等物の期首残高	11,190	12,327
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,866	7,857

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

	家庭用品事業 (百万円)	総合環境衛生 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,878	3,776	20,655	—	20,655
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	34	88	(88)	—
計	16,931	3,811	20,743	(88)	20,655
営業利益	1,625	320	1,946	(173)	1,773

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 家庭用品事業 家庭用殺虫剤、日用品(洗口液、義歯関連用品、歯磨き用品、入浴剤、芳香洗剤等)、ペット用品、防疫・農林畜産薬剤及び海外向け殺虫剤原材料の製造販売及び仕入販売
- (2) 総合環境衛生事業 工場、病院等の衛生管理サービス

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	家庭用品事業 (百万円)	総合環境衛生 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,735	3,800	21,536	—	21,536
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	81	31	113	(113)	—
計	17,817	3,832	21,649	(113)	21,536
営業利益	1,638	293	1,931	(181)	1,750

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 家庭用品事業 家庭用殺虫剤、日用品(洗口液、義歯関連用品、歯磨き用品、入浴剤、芳香洗剤等)、ペット用品、防疫・農林畜産薬剤及び海外向け殺虫剤原材料の製造販売及び仕入販売
- (2) 総合環境衛生事業 工場、病院等の衛生管理サービス

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
家庭用品事業	19,637	△5.0
合計	19,637	△5.0

- (注) 1. 金額は、販売実績に基づいた価格によっております。
 2. 総合環境衛生事業はサービス業であるため、生産実績はありません。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 商品仕入実績

当第1四半期連結累計期間における商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期比(%)
家庭用品事業	6,472	+9.9
総合環境衛生事業	267	+42.7
合計	6,740	+10.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、仕入実績に基づいた価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 受注実績

当社グループは、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

④ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
家庭用品事業	17,735	+5.1
総合環境衛生事業	3,800	+0.6
合計	21,536	+4.3

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
株式会社Paltac	5,478	26.5	5,409	25.1

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。